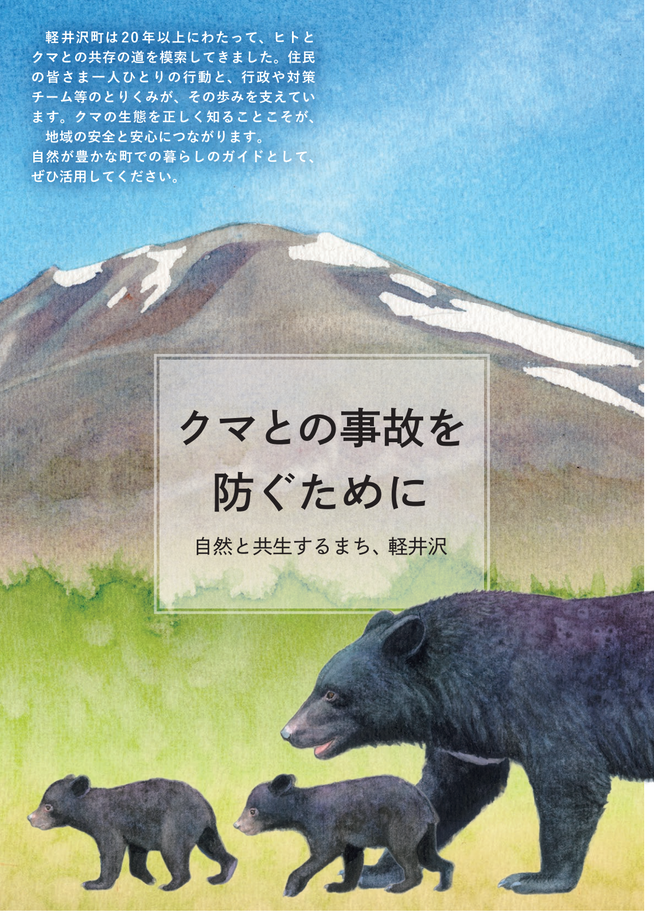
軽井沢町は20年以上にわたって、ヒトとクマとの共存の道を模索してきました。住民の皆さま一人ひとりの行動と、行政や対策チーム等のとりくみが、その歩みを支えています。クマの生態を正しく知ることこそが、地域の安全と安心につながります。
自然が豊かな町での暮らしのガイドとして、ぜひ活用してください。

クマとの事故を防ぐために

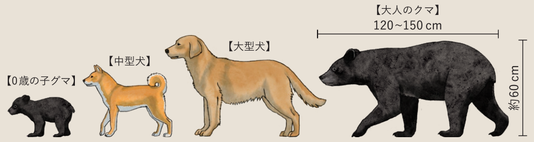
自然と共生するまち、軽井沢



1. クマについて

軽井沢に生息するクマはツキノワグマです。全身真っ黒で大人になると大型犬より大きくなります。草や若芽、クワ、キイチゴ、サクランボ、クリやドングリなどの植物を中心に食べており、アリやハチも大好物です。なお、胸の「月の輪」模様は１頭１頭異なり、新月（模様なし）から半月まで様々です。

大きさの比較



大人（3歳くらい）になると大型犬と同じか、それより大きくなる。
0歳は小型犬サイズ。近くに母グマがいるため注意！

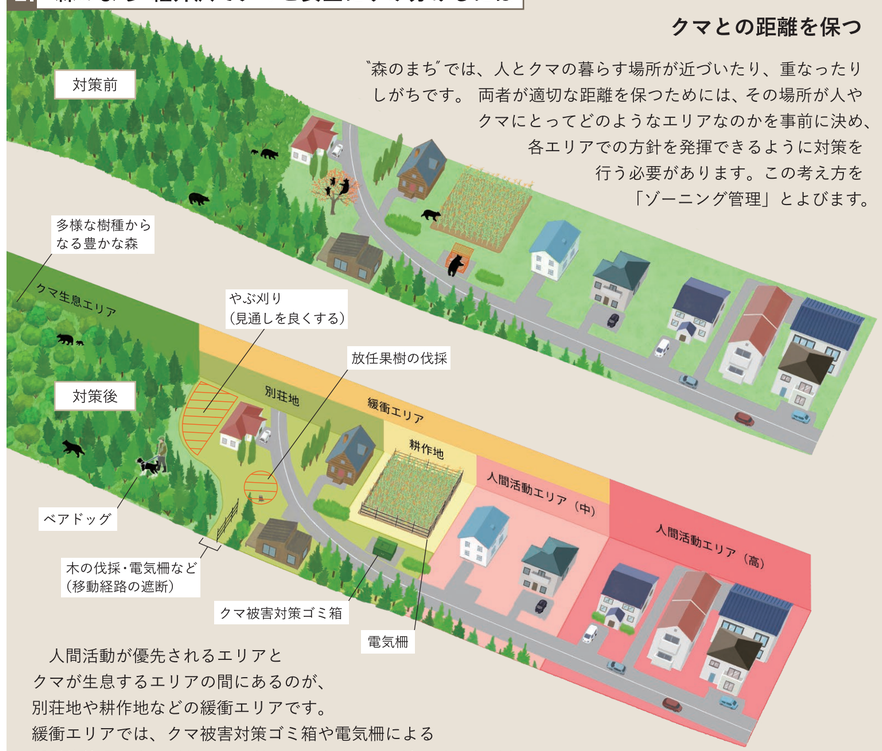
間違いやすい動物

足跡

2. "森のまち"軽井沢でクマと安全にすみ分けるには

クマとの距離を保つ

"森のまち"では、人とクマの暮らす場所が近づいたり、重なったりしがちです。両者が適切な距離を保つためには、その場所が人やクマにとってどのようなエリアなのかを事前に決め、各エリアでの方針を発揮できるように対策を行う必要があります。この考え方を「ゾーニング管理」とよびます。



人間活動が優先されるエリアとクマが生息するエリアの間にあるのが、別荘地や耕作地などの緩衝エリアです。
緩衝エリアでは、クマ被害対策ゴミ箱や電気柵による誘引物管理、やぶ刈り、ベアドッグによるクマの追い払いなどを重点的に行い、人とクマが安全にすみ分けられるようにしています。
詳しくは、裏面の「令和８年度版 かるいざわ ツキノワグマ ゾーニングマップ」をご覧ください。

通報先

クマや、クマのものと見られる痕跡を発見したら下記までご連絡ください

▼

軽井沢町環境課 0267-45-8556

NPO法人ピッキオ 0267-46-3818
090-3585-9763

こちらの二次元コードからも通報できます ▶

皆様からの通報を受けて、現場検証を行い、注意喚起等の対策につなげます。
情報収集へのご協力をお願いします。

「クマかな？」と迷ったら・・・

クマに関するよくある質問はこちら▶

最新のクマ情報

軽井沢さるクマ情報 ▶

メール配信サービスのご案内 ▶

軽井沢町環境課（0267-45-8556）

制作／軽井沢町　監修／NPO法人ピッキオ
イラストレーション／菊谷詩子
デザイン／大塚杏子

3. 軽井沢のクマ対策

１頭１頭のクマの個性に注目して

保護管理の３本柱

① 環境整備（近づかせない）
② 侵入防止（入れさせない）
③ 捕獲

この３つの対策を組み合わせる必要があります

③については動物の種類に応じた方法が必要で、クマの場合は行動の問題レベルに見合った「個体管理」を実施しています。

なぜ「個体管理」か？

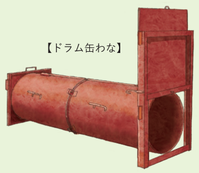
クマはなわばりを持たず、１頭１頭、行動の違いが大きい動物です。被害を確実に防ぐためには、問題行動をとるクマを特定することが大事です。このため、電波発信器を利用した行動調査や追い払いに力を入れています。なお、問題行動が多くなったクマは捕獲を行います。

事前捕獲

クマの行動を調べるため、森の中にわなを設置して、捕獲されたクマに電波発信器を装着しています。放すときには、人を恐れることを教え込みます。

行動調査

発信器を装着したクマが、人家周辺などを利用しているかなどの調査を行います。得られたデータは、潜み場所や移動経路の対策に活用されます。6月から10月にかけては、毎晩居場所を調べ、場合によっては朝までに追い払いを行っています。



※町外を含めて30頭ほどを追跡できるようにしています。すべてのクマに発信器がついているわけではありません。

ベアドッグで、クマを傷つけずに人を守る

人とクマの良好な関係づくりのために、アメリカの“Wind River Bear Institute”によってカレリア犬がベアドッグ（クマ対策犬）として使われ始めました。カレリア犬は、フィンランドのカレリア地方で、ヒグマなどの狩猟に長らく使われてきました。獲物に噛みつかず、周りで吠えて足止めする性質が、クマも犬も人も傷つかない対策でも役に立つのです。

現在は３世代目と４世代目となる２頭が活躍しています。

ベアドッグのお仕事

① クマの追い払い
② 誘引物・移動経路の特定
③ スタッフの安全確保
④ クマを理解するためのきっかけ作り

ベアドッグになるには

実は、すべての子犬がベアドッグとして働けるわけではありません。生後2~3か月頃に行う適性テストを経て、素質のある子犬をベアドッグとして訓練します。

【エルフ♀】
2018年4月 日本生まれ

【スシャナ♀】
2024年6月 アメリカ生まれ

4. 個人でできる対策

一人ひとりの心がけと行動が、ヒトとクマの両方を守ります

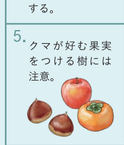
クマを引き寄せない

"森のまち"軽井沢では、どこでもクマと遭遇する可能性があります。ゴミや人の食べ物はクマにとって魅力のある誘引物となるため、適切に管理する必要があります。

クマに出会わない

クマとの接触事故を防ぐためには、近くで出会わないようにすることが大事です。クマがいそうな場所を知り、自分の存在をアピールすることで、不意の遭遇を避けましょう。

1. 軽井沢さるクマ情報、メール配信サービスを利用する。
2. 夕方から朝にかけてと、天候が悪い時は特に注意。
3. 看板などを参考にして、クマがいる場所をできるだけ避ける。
4. 林の中で穴や凹みに近づかない。
5. クマが好む果実をつける樹には注意。

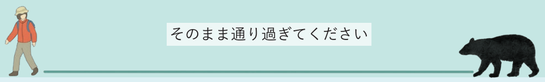


6. クマを興奮させて引き付けることがあるため、犬のリードを離さない。
7. クマ鈴やラジオなどの鳴り物を携帯し、やぶ周辺や見通しの悪いところでは、積極的に自分の存在を知らせる。

【クマ鈴】

それでもクマに出会ってしまったら

1. クマが遠くにいる場合



そのまま通り過ぎてください

2. クマが 50 メートル以内にいる場合

様子を見ながら
後ずさりして離れてください

3. 子グマを見つけた場合

近くに母グマがいます
直ちに離れてください

4. 背中を見せて走って逃げない

クマは時速約 40 km で走れます

5. 接触してしまったら

うつ伏せになり、両手を首の後ろで組んで
顔や首、お腹を守ってください

【クマスプレー】
万が一、クマが向かってきた場合には有効です。

正しい使い方動画 ▶

制作：日本クマネットワーク